

2018.2.18 (日) 13:00~18:00
明治学院大学 (白金キャンパス) 国際会議場 (本館10階)

フランスにおける移民統合の 「共和国モデル」

— 意義と変化と問題点 —

日仏シンポジウム **要申込**

「日本は実質的移民受入国である」と言われるようになって久しい。地方自治体や民間団体は移民・外国人の支援のためにさまざまな取り組みや活動を行っているが、日本全体としてどのような理念のもとで多文化共生社会を実現するのか議論するにいたっていないのが現状である。こうしたなか、参考になるのがフランスの事例である。フランスでは、社会編成原理として「共和国モデル」が存在し、国民統合や移民の統合もこのモデルに従うとされてきた。それでは、「共和国モデル」とは何なのか。多文化共生社会の実現にとってどのような意義があり、また問題点があるのか、モデルは不変なのか。さらに、「共和国モデル」に基づく移民の統合は実際にうまく機能しているのか、移民はどのように統合を生きているのか。本シンポジウムでは、以上のような視点から「共和国モデル」を問いながら、また、日本における多文化共生の現状も念頭に置きながら、意見を交換し、多文化共生社会の実現に向けた議論を深めていく。

使用言語：日本語、フランス語 (逐語通訳付き)

◎ 12:30 受付開始

◎ 13:00 開会

・主催者挨拶 中野裕二(駒澤大学)

1. 「共和国モデル」

◎ 13:05 ~ 14:20

【司会】浪岡新太郎(明治学院大学)

・ライセンスと「共和国モデル」

ステファニ・エンネット・ヴォシェ(パリ・ナンテール大学)

・統合高等審議会の言説変化にみる「共和国モデル」の変容
中野裕二(駒澤大学)

◎ 14:20 ~ 14:35 コーヒーブレイク

2. 「共和国的統合」

◎ 14:35 ~ 15:50

【司会】園山大祐(大阪大学)

・「受入統合契約」による「統合」と「共和国モデル」

野村佳世(都留文科大学)

・国民統合をめぐる公的論議のいくつかの誤解(1989-2018年)

アメド・ブバクール(サンティエヌヌ大学)

◎ 15:50 ~ 16:05 コーヒーブレイク

3. 全体討論

◎ 16:05 ~ 18:00

【司会】村上一基(東洋大学)、森千香子(一橋大学)

討論者：ブアレム・アザム(DiverCité等)、高谷幸(大阪大学)

4. 情報交換会・懇親会 (要申込：参加費1000円)

◎ 18:15 ~ 20:15

明治学院大学・白金校舎記念館大会議室(記念館2階)

情報交換会・懇親会への参加申込は2018年2月9日(金)までをお願いします。

【学術責任者】中野裕二(駒澤大学)

【連絡先】kia1027@komazawa-u.ac.jp

【主催】JSPS 科研費 15KT0047

【共催】明治学院大学国際平和研究所(PRIME)

明治学院大学白金キャンパス

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

アクセスマップ <http://www.meijigakuin.ac.jp/campus/shirokane/>

要申込



参加申し込みフォームQRコード

アドレス

<https://goo.gl/forms/HfkcCwCU7WCE64V02>